

令和7年度 第2回大和市障がい者福祉計画審議会 会議録（要旨）

日時 令和8年2月24日（火） 午後6時00分～

場所 大和市保健福祉センター5階 501会議室

出席委員 出席11名 欠席0名

傍聴人 0名

会議次第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議題
 - (1) 大和市障がい者福祉計画進行管理シートについて
 - (2) 第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画の進行管理について
 - (3) 第8期障がい福祉計画・第4期障がい児福祉計画の策定について
4. その他

会議資料

- (1) 大和市障がい者福祉計画進行管理シート …… 【資料1】
- (2) 第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画の進行管理について …… 【資料2】
- (3) 第8期障がい福祉計画・第4期障がい児福祉計画の策定について …… 【資料3-1・3-2、参考資料3-1～3-3】

【議事要旨】

議題3（1）【大和市障がい者福祉計画進行管理シートについて】

事務局：【資料1に基づいて説明】

委員：資料1、分類1－3の中にある乳幼児期からの交流について、障がい児の受け入れ者数の上限規制等はあるのか。

事務局：事業所管課から事前に提出された資料では、特に上限は定めていないとのこと。全体としての上限はありませんが、園の数・人数には、市の保育園だけでなく認可外保育園等も含まれているため、各園個別に上限を定めているかまでは、所管課も認知していないと考えられます。

委員：強度行動障害と認定されている方々について、人数等を委員も含め市民が知るすべはあるのか。

事務局：強度行動障害については、3年に1度の認定調査において行動援護スコア判定しているところです。このため、毎月区分認定の審査会が開催されている関係で、その数も流動的となりますが、どこかの時点軸で区切り、人数をお示しするといったことについて検討してまいります。

議題3の次期障がい福祉計画・障がい児福祉計画においても、支援ニーズの把握や支援体制の整備が新設されているため、そのようなニーズの把握に努めるといった成果目標を掲げることも可能となっております。

会長：分類2-2障害者自立支援協議会の中で、精神保健福祉部会を終了し、意思決定支援推進の開催が増加している理由は。

事務局：精神保健福祉部会については、地域包括ケアシステム構築に向けて取り組みを進めておりましたが、大和市においては令和6年度をもって構築となりましたので、目的を概ね達成し発展的に終了いたしました。また、意思決定支援部会は障がいのある方々への権利擁護を推進するため、今年度から開始しております。大和市として意思決定支援に関する課題を整理するとともに、回数については、これらのニーズの高まりや重要性について、市内の支援機関で共有しながら、なるべく多くの参加者を募れるよう、翌年度は多く見込んでいます。

議題3 (2) 【第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画の進行管理について】

事務局：【資料2に基づいて説明】

委員：資料2、16ページ(2)自発的活動支援事業のピアサポートについて、実施している当事者団体に対してどのような援助があるのか。

事務局：大和市障害者自立支援センターにおいて、基幹相談センター事業の一環として、ピアカウンセリング事業を行っており、障がい当事者の方やそのご家族から相談をうけ、様々なアドバイスを行っております。対象者は大和市にお住いの身体障がい、知的障がいのある方とそのご家族であり、自立支援センターへ大和市心身障害児者福祉団体連合会からカウンセラー派遣を行っているため、当該団体へ補助を実施しています。

会 長：3ページの地域生活支援拠点の充実について、実効性の確保が課題となっていますとあるが、課題とは何か。

事務局：ニーズは非常に高いものと認識しているが、地域生活支援拠点としての実績が不足しています。具体的には、地域生活支援拠点を構築し、その中で活動することにより加算がとれるが、それを取得するまでに至っていない等が課題であり、実効性が確保されていない点であると考えています。

会 長：7ページに関連して、グループホームに対する地域連携推進会議について、すでに地域のどこか団体等を想定して呼び掛けていたり、何かモデルのようなものを提示しているか。

事務局：地域連携推進会議については、そのメンバー構成として地域の方々に必ず参加していただかなければならないといったルールがあります。各グループホームからも、どのような方にご参加いただければよいのかといったお悩みをいただいております。そのため、昨年夏までに、民児協、自治会連合会、地区社協において当該会議についてご説明し、協力を要請いたしました。特に民生委員からは、地域福祉の推進に寄与するとご理解いただき、手厚くご協力いただく仕組みを構築したところでございます。

委 員：3ページにある地域生活支援拠点コーディネーターの配置人数について、具体的にどこに配置されているか。また、どのような役割か。

事務局：こちらのカッコ内に記載のある1名は令和7年度の目標値であるため、現在コーディネーターの配置はございません。来年度中での配置を目標に取り組んでまいります。地域連携推進会議など大和市では多くの事業者が参加される中で、その中心となって活動して欲しいとの要望はありますが、具体的な役目については、各事業者と協議を重ねる中で形作っていければと考えております。

委 員：4ページの就労に関連して、はっきりとした根拠はないが精神障害者は長時間の就労が大変重荷となっているため、市でも短時間勤務職員の募集・採用を手厚くするなど旗振り役となって対策を講じてほしい。

事務局：ご意見として承りました。いただきましたご意見について、各計画に反映できるかなど、機会を捉え検討いたします。

議題3 (3) 【第8期障がい福祉計画・第4期障がい児福祉計画の策定について】

事務局：【資料3に基づいて説明】

委員：参考資料3-2・3-3のアンケートシートについて、事前に事務局へ修正案を提出してあるため、各委員に配付し、検討いただきたい。

事務局：後日、議事録の確認とともに委員の皆さまにお配りしたいと考えていますが、各委員いかがでしょうか。

委員：異議なし。

議題4 【その他】

委員：本日の福祉新聞の紙面で、神奈川県手をつなぐ育成会が発行している「防災あんしんブック（自分のこと編）」が取り上げられており、非常に役立つ情報・内容となっているため、必要な方々へご周知いただきたい。

事務局：次回審議会開催予定について、当日配付資料のスケジュールにありますとおり、翌年度となる5月頃を予定しています。

以上